

## VUV-SX 懇談会 2024 年度第 2 回幹事会議事録

日時：2024 年 9 月 13 日（金）13:00～14:55

場所：オンライン会議

出席者（敬称略）：解良聡（会長）、木村真一、北村未歩、木下豊彦、関山明、堀場弘司、松井文彦、山本達

オブザーバー（敬称略）：木村隆志、原田慈久（議事録担当）

議題：

1. ニュースレターについて
2. 研究会・シンポジウムについて
3. その他

議事内容：

### 1. ニュースレターについて

・北村編集委員長より、新たに編集委員として阪田薫穂氏(KEK-PF)に加わっていただきたい旨申し出があり、承認された。

・内容は以下を基本とすることが提案された。

- ・ 会長挨拶
- ・ テーマ記事
- ・ 研究会報告
- ・ 賛助会員紹介
- ・ 総会議事録
- ・ 編集後記

・ テーマ記事の例として、以下のものが挙げられた。

- ・ NanoTerasu の紹介と期待される研究展開（サイエンス中心に）
- ・ 高調波レーザーを用いた最新研究
- ・ SPring-8 II のフルコヒーレント軟X線光源を用いた科学の展望
- ・ 各施設の将来計画紹介（それぞれの光源の特長を共有することが目的のため、単なる施設紹介にならない配慮が必要）

主要カテゴリーとして、1) 横断的サイエンス、2) 先端設備利用事例、3) 国際動向、3つを軸として記事の依頼とアーカイブ化を進める。国際会議紹介なども上記分類に沿うような内容であれば受け付ける。

・ Web サイトでテーマ記事を随時追加・更新し、アーカイブとして過去の記事も閲覧可能にした上で、年 1 回 10 月頃を目途に、PDF として上記の内容でまとめたものをメールで会員に配信し、翌年 1 月の VUV-SX 懇談会総会で紹介する方針が承認された。なお、引き続き印刷物での発行は行わないこととなった。

### 2. 研究会・シンポジウムについて

・ 開催方針として、VUV-SX 光源を横断的に扱う内容とすること、XFEL や高調波レーザー光源も積極的に含めた議論を行うこと、施設紹介ではなく、サイエンスを中心とした内容にすることが議論され、プログラムには、以下の内容を含むことが提案された。

- ・ VUV-SX 放射光源を用いた最新研究の紹介
- ・ 高調波レーザー光源を用いた研究の紹介と利用促進のための議論

- ・ 光源の横断的な利用研究の可能性
- ・ 光源の将来計画・国内放射光のグランドデザインに関する議論

また今後の VSX 懇談会会員の裾野を広げることを目的とし、レーザー学会のコミュニティからの参加を促すための方策検討を開催趣旨とする。

- ・ 2024 年 11 月～12 月前半で、東京近郊で 30～50 人程度の小人数で開催する方針が示された。次号ニュースレターの記事としての候補となる。
- ・ 掘場計画委員長がプログラム委員を選定し、具体的な内容を検討することとなった。

### 3. その他

- ・ 解良会長より、幹事会メンバーにレーザー関係者複数名をオブザーバーとして招くこと、それに合わせて会則にオブザーバーに関する事項を追加することが提案され、承認された。
- ・ 解良会長より、会則・細則改定について改めて確認があり、総会までに幹事会で確定版のメール審議を行う旨報告があった。
- ・ 解良会長より、総会ではニュースレターのあり方に関する議論や研究会・シンポジウムなどの活動報告を中心に行う方針が示された。
- ・ VUV-SX あり方検討ワーキングの活動の一環として開催された「VSX 連携ミーティング」の議事録を幹事会にて共有する。

・ メモ（幹事会にて議論せず一部委員からの後日指摘事項）  
賛助会員から会費収入の用途（ニュースレター送付に代わるもの）について検討する必要あり。

以上